

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	7
事業名	入札・契約経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	総務課		
施策	4-1 効率的行財政の運営	係名	管財係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	事業者、職員	目的 (対象がどのような状態になっているか)	応札者は、インターネットを介して参加申請や入札が行えるため、発注機関へ行くことが不要となり、移動時間や待ち時間、移動経費が減少する。職員においては、各種書類が電子化されることにより、入力の手間やミスがなくなり、書類作成事務の効率化、入札事務の迅速化が図られる。
事業内容	公共工事等に係る入札、契約業務を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)			令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				4,499	9,823			6,636	
財源内訳	直接事業費 A			1,859	9,295			6,108	
	うち一般財源			1,859	9,295			6,108	
人件費 (千円) B				2,640	528			528	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.4	2640	0.08	528	0.08	528	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	事業者への周知期間が必要であり、一時的に、紙入札と電子入札の併用が必要である。	③取組の課題	電子入札に対応できない事業者がいる。
②R4年度に実施した取り組み	電子入札導入に向けてシステムの構築を行った。	④今後の改善計画	事業者への周知と電子入札の扱いについて説明会を開催する。